SK SATO

熱中症暑さ指数計

SK-150GT

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.

はじめに

このたびは熱中症暑さ指数計「SK-150GT」をお買いあげいただきありがとうございました。

◎この商品は、温度・黒球温度・湿度およびWBGT指数をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。

※WBGT指数とは、Wet Bulb Globe Temperature（湿球黒球温度）の略でISO 7243/JIS Z8504で規定されている作業者の熱ストレス（暑熱環境）の評価に使用される指数です。

熱中症予防の目安としてご使用できます。

◎ご使用前には必ず取扱説明書（本書）をお読みになり、大切に保管してください。

⚠ 本器をご使用いただく前に

本器で熱中症を防ぐことはできません。
本器は熱中症予防の目安となるWBGT指数を測定する製品です。
熱中症の発症は暑熱環境の影響のほか、個人の健康状態や暑熱環境に対する習慣性など様々な要因があります。
本器をご使用するにあたり、上記の要因を良く理解していただき、熱中症予防のための目安としてご使用ください。

⚠ 警　告

爆発注意

爆発する恐れがあり大変危険です。
本器は防爆仕様ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気でのご使用は絶対にしないでください。
●ご不明な点がありましたらお買いあげ店または弊社サービスネットワークにご相談ください。

⚠ 注　意

本器をご使用いただくために、以下のことを守ってください。
- 標準空気組成（一般大気）以外でのご使用は絶対にしないでください。
- 本器は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。
- 測定範囲外でのご使用は本体、センサの故障の原因となります。
- 湿度センサには絶対に触れないでください。

- 本器が結露した場合は、すみやかに電源を切り常温で自然乾燥させてから再度ご使用ください。
- 電気的ノイズが発生する環境でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- 本器を分解、改造しますと、故障の原因となりますので、絶対にしないでください。
- 本器は精密機器ですので落下させたり、振動、衝撃を与えないよう注意してください。
- 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤などで洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。
- 長時間使用しない場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。乾電池を入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があり、故障の原因となります。
- 不要になった乾電池は火中に投入しないでください。
- 乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- 環境保全のため使用済み乾電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようにお願いします。

※修理･校正はお買いあげ店または弊社サービスネットワークへお申し付けください。

概　要

本器は黒球温度計・温度計・湿度計が一体となった、ハンディタイプのWBGT指数測定器です。
熱中症予防の目安や労働環境の熱ストレスの評価として使用されるWBGT指数をはかることができます。

特　長

- 本器はWBGT指数の他に温度、黒球温度、湿度も同時に測定するため、環境測定に便利です。
- オートパワーオフ機能付き（約20分）で、電源切り忘れ時の無駄な乾電池消耗を防ぎます。
- HOLD機能付きで、測定値を読み取るときに便利です。
- 最高値（MAX）/最低値（MIN）の表示機能付きです。測定時の監視に便利です。
- WBGT指数のアラーム設定ができます。設定された値を超えるとブザー音でお知らせします。
- ハンディタイプで持ち運びに便利です。
- 本器はカメラ用三脚に固定できるネジ穴付きで、測定時の設置に便利です。
- オプションのRS-232C接続ケーブルを使用することで、現在の測定値をリアルタイムでパソコンに送信することができます。

目　次

項目　　ページ

各部の名称 …… 1

乾電池のセット方法 …… 3

測定方法 …… 3

HOLD機能 …… 4

MAX/MIN機能 …… 5

アラーム機能 …… 5

オートパワーオフ …… 5

リアルタイム通信機能 …… 6

参考資料 …… 7

エラーメッセージ …… 10

仕様 …… 11

オプション …… 11

インターネットホームページ …… 12

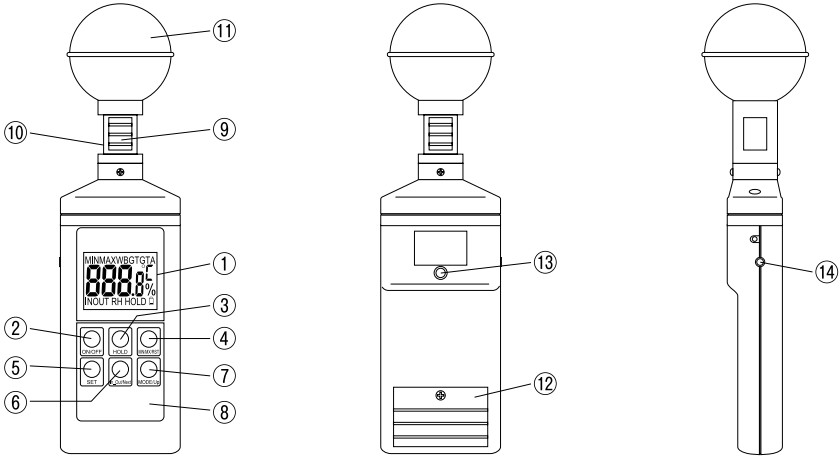
サービスネットワーク …… 12

保証規定 …… 13

品質保証書 …… 13

各部の名称

1．本体部



① 表　　示　　部：測定値や本器の状態を表示します。
※詳しくはP. 2「表示部」をご参照ください。

②ＰＯＷＥＲキー：電源ON/OFFキーです。
キーを押すと本器の電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

③ＨＯＬＤキー：測定値を固定（HOLD）するキーです。
キーを押すと表示中の測定値を固定（HOLD）します。
もう一度押すと固定（HOLD）を解除します。

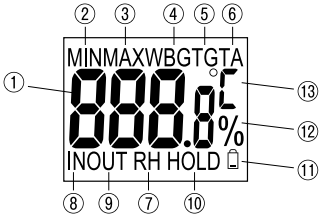
④ MN/MX/RSTキー：測定値のMAX/MIN表示切替キーです。
測定状態のときに押すと測定値の最高値（MAX）および最低値（MIN）を表示します。
測定状態のときに2秒以上押し続けると全点灯表示し、MAX/MIN値をリセットします。

⑤ＳＥＴキー：アラームの設定キーです。
WBGT指数表示のときに2秒以上押し続けるとアラーム設定に移行します。
アラーム設定のときに2秒以上押し続けると設定値を確定し測定状態に戻ります。

⑥ IN_OUT/Nextキー：WBGT指数の測定環境設定を切り替えるキーです。
WBGT指数表示のときに2秒以上押し続けると、WBGT指数の室内測定（IN）または室外測定（OUT）の設定を切り替えることができます。
また、アラーム設定のときに押すと、設定値の桁を移動します。

⑦ ＭＯＤＥ/Ｕｐキー: 表示する測定値を切り替えるキーです。
測定状態のときに押すと、各表示「温度（TA)、黒球温度（TG)、湿度(RH)、WBGT指数(WBGT)」を切り替えることができます。
アラーム設定のときに押すと、設定値を増加することができます。
⑧シール貼付部: 付属の指針シールを貼り付ける部分です。
⑨温湿度検出部: 温度および相対湿度の測定部です。
⑩検出部カバー: 検出部をゴミや埃から守ります。
検出部カバーを回転すると、検出部が開閉します。
測定時には必ず検出部をあけてください。
保管中やご使用しないときは検出部をしめることでゴミや埃等からセンサを保護します。
⑪黒球: 輻射熱を測定する部分です。内部に温度センサが内蔵されています。
⑫電池カバー/電池BOX: 乾電池のセット部分です。
⑬三脚固定用ネジ穴: カメラ用三脚に取り付けるためのネジ穴です。
⑭通信ジャック: RS-232C接続ケーブルを差し込むジャックです。

2．表示部



①７セグメント: 測定値「温度（TA)、黒球温度（TG)、湿度（RH)、WBGT指数（WBGT)」を表示します。
また、アラーム設定のときに設定値を表示します。
②ＭＩＮ: 測定値の最低値を表示中に点灯します。
③ＭＡＸ: 測定値の最高値を表示中に点灯します。
④ＷＢＧＴ: WBGT指数を表示中に点灯します。
⑤ＴＧ: 黒球温度測定値を表示中に点灯します。
⑥ＴＡ: 温度測定値を表示中に点灯します。
⑦ＲＨ: 湿度測定値を表示中に点灯します。
⑧ＩＮ: 室内測定（IN）時のWBGT指数表示中に点灯します。
⑨ＯＵＴ: 室外測定（OUT）時のWBGT指数表示中に点灯します。
⑩ＨＯＬＤ: 測定値を固定（HOLD）しているときに点灯します。
⑪ローバッテリーマーク: 電池残量が少なくなると点滅して乾電池の交換時期をお知らせします。
⑫%: 湿度の単位（％ｒｈ）のキャラクタです。
⑬℃: 温度、黒球温度、WBGT指数の単位（℃）のキャラクタです。

乾電池のセット方法

本器を初めてご使用する場合やローバッテリーマークが点滅した場合は以下の手順で乾電池をセットしてください。

①電池カバー固定ネジをプラスドライバーで反時計方向に回し、ネジを外してください。（ネジの紛失にご注意ください。）

②電池交換の場合は古い乾電池を取り出してください。

③電池スナップと９Ｖ乾電池６Ｆ22（006P）の極性（⊕、⊖）を確認して正しく乾電池をセットしてください。

④電池カバーを取り外したときと逆の手順で電池カバーを取り付けてください。

※乾電池を抜いてもアラーム設定値や測定環境設定を保持します。

⚠ 注　意

●表示部にローバッテリーマークが点滅したときは、速やかに新しい乾電池と交換してください。

●ローバッテリーマークが点滅した状態で使用しますと、正しい測定ができません。

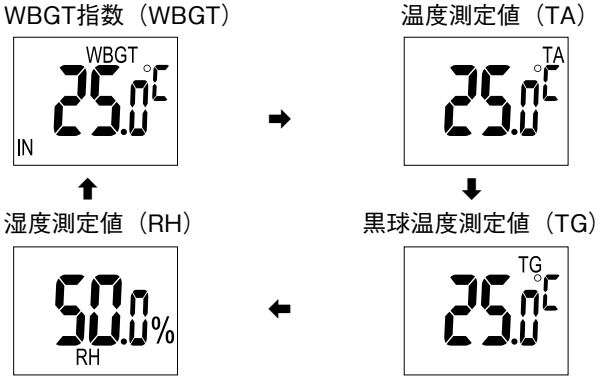
●乾電池は新しいものをご使用ください。

測定方法

①検出部カバーを回転させて検出部をあけてください。

②POWERキーを押すと約３秒間表示部が全点灯した後、測定値が表示され測定状態になります。

③測定の表示状態はMODE/Upキーを押す毎に下記のように切り替わります。



④本体表示部の下側を持ち、できるだけ身体から離して測定してください。
カメラ用三脚に本器を取り付けて設置することもできます。
※測定の高さなどの条件は使用目的によって変わります。必要に応じて「P. 7参考資料」にある資料をご確認ください。
⑤測定を終了する場合は、POWERキーを押して電源を切ってください。
※保管の際は検出部カバーを回転させて検出部をしめてください。

●WBGT指数測定時の注意

ご使用になる場所によって、WBGT指数の演算方法が変わります。
測定を行う前に、必ず測定環境に合わせて本器の測定環境設定を切り替えてください。
①電源投入後、MODE/Upキーを押してWBGT指数表示に切り替えてください。
②IN_OUT/Nextキーを２秒以上押し測定環境を設定してください。
- 室内測定（IN）　：室内または室外の日が当たらない場所でご使用いただく場合
- 室外測定（OUT）：室外の日が当たる場所でご使用いただく場合

⚠ 注　意

●使用環境条件を超えた環境でのご使用は絶対にしないでください。
●測定範囲を超えた測定は絶対にしないでください。
●本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響を及ぼすことがあります。
結露に注意して周囲の温度に十分なじませた後にご使用ください。
●黒球の取扱いにはご注意ください。
落下や衝撃などによりへこんだり、塗装が剥がれたりしますと正確な測定ができません。

HOLD機能

測定値の変化が激しい場合は、HOLDキーを押すことにより表示が固定され測定値の読み取りが容易になります。

●操作方法

①測定状態でHOLDキーを押してください。
HOLDキャラクタが点灯して測定値が固定します。
②解除する場合はもう一度HOLDキーを押してください。
HOLDキャラクタが消灯し固定が解除されます。

MAX/MIN機能

測定中の最高値（MAX）と最低値（MIN）を表示することができます。

●操作方法

①測定状態でＭＮ/ＭＸ/RSTキーを押す毎に下記のように切り替わります。
「MIN表示」→「MAX表示」→「測定状態」→「MIN表示」・・・

②ＭＮ/ＭＸ/RSTキーを２秒以上押すと全点灯してMAX/MIN値をリセットします。

※電源の投入後またはリセット以降のMAX/MIN値を表示します。
また、本器の電源を切るとMAX/MIN値はリセットします。
最高値（MAX）、最低値（MIN）はMAX/MIN表示状態においても常時更新され、表示します。
HOLD状態では最高値（MAX）、最低値（MIN）は更新されません。

アラーム機能

WBGT指数測定値がアラーム設定値を超えたときにブザーが作動しお知らせします。

注意：アラーム機能はWBGT指数にのみ有効です。温度、黒球温度、湿度測定値に対してはアラーム設定はできません。
また、本器は約20分間キー操作がない場合、オートパワーオフ機能が働き自動で電源が切れます。20分以上連続でご使用になる場合はオートパワーオフを解除してください。
※オートパワーオフの解除方法はP. 5「オートパワーオフ」をご参照ください。

●操作方法

①MODE/Upキーを押してWBGT指数表示に切り替えてください。
※温度、黒球温度、湿度表示ではSETキーは無効です。

②SETキーを２秒以上押してください。アラーム設定値が表示します。

③MODE/Upキーを押すと点滅している桁の数字が増加します。
設定する桁を変更する場合は、IN_OUT/Nextキーを押して設定桁を切り替えてください。
※アラームの設定範囲は20.0 ～ 49.9です。
注意：アラーム機能をOFFにすることはできません。アラーム機能をご使用しない場合は最高値（49.9）に設定してください。

④アラーム設定値を設定後、SETキーを２秒以上押してください。
設定値が確定して、測定状態に戻ります。

注意：アラーム設定値を確定せず電池を切った場合は、前回のアラーム設定値となります。

オートパワーオフ

本器は約20分間キー操作がない場合、オートパワーオフ機能が働き自動で電源が切れます。電源の切り忘れによる無駄な電池の消耗を防ぎます。

●オートパワーオフの解除方法

①電源OFF状態でPOWERキーとHOLDキーを同時に押し続けてください。

②電源が入り、表示部に「n」が表示されたら、キーを離してください。「n」が消灯し測定状態になります。
これによりオートパワーオフ機能が解除されます。
注意：電源を切るとオートパワーオフの解除が無効になります。
オートパワーオフ機能をご使用しない場合は、その都度電源ON時に上記の手順で解除してください。

リアルタイム通信機能

本器は測定状態のときに測定データをリアルタイムに出力しています。
本器とオプションのRS-232C接続ケーブルでパソコンと接続することにより測定値（温度、黒球温度、湿度、WBGT指数）をパソコンに取り込み、解析・保存することができます。
注意：ソフトウェアは準備しておりません。必要に応じて、お客様ご自身で作成してください。

●接続方法

本器とパソコンを接続するためにはオプションのRS-232C接続ケーブルが必要です。
①本器の通信ジャックにRS-232C接続ケーブルのプラグを接続してください。
②RS-232C接続ケーブルの９ピンコネクタをパソコンのシリアルポート（９ピン）に接続してください。
③本器の電源を入れ測定状態にしてください。リアルタイムで測定データが送信されます。

●通信条件

パソコンの通信条件の設定は下記のとおりです。
通　信　速　度：9600bps
ビ　ッ　ト　数：８ビット
ストップビット：１ビット
パリティチェック：なし

●通信プロトコルの例

測定値が下記の場合
WBGT：26.9℃
T　A：29.9℃
T　G：22.3℃
R　H：92.4% rh
通信プロトコル
W26.9C：T29.9C：T22.3C：H92.4% ea

注意：WBGT指数は、表示している測定環境設定（室内測定または室外測定）の値を送信します。
リアルタイム通信前に必ず室内測定（IN）または室外測定（OUT）を確認してください。

参考資料

以下は熱中症予防の目安や暑熱環境の熱ストレス評価についての参考資料です。
本器には参考資料に基づいた熱中症予防の目安となる「指針シール」が付属されております。必要に応じて本体操作キーの下に貼り付けてご使用ください。

●日本体育協会 「熱中症予防ガイドブック」より抜粋

【熱中症予防運動指針】

WBGT指数	湿球温度	乾球温度	項　　目	具　　体　　例
↑	↑	↑	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31	27	35	厳重警戒 （激しい運動は中止）	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分･塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28	24	31	警戒 （積極的に休息）	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分･塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
25	21	28	注意 （積極的に水分補給）	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分･塩分を補給する。
21	18	24	ほぼ安全 （適宜水分補給）	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分･塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

1）環境条件の評価にはWBGTが望ましい
2）乾球温度を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する

WBGT（湿球黒球温度）
屋外：WBGT＝0.7×湿球温度＋0.2×黒球温度＋0.1×乾球温度
屋内：WBGT＝0.7×湿球温度＋0.3×黒球温度

●厚生労働省　基安発第0729001号「熱中症の予防対策におけるWBGTの活用について」より抜粋

【WBGT熱ストレス指数の基準値表（各条件に対応した基準値)】

区分	例	WBGT基準値			
		熱に順化している人　℃		熱に順化していない人　℃	
0 安静	安静	33		32	
1 低代謝率	楽な座位；軽い手作業（書く、タイピング、描く、縫う、簿記)；手及び腕の作業（小さいペンチツール、点検、組立てや軽い材料の区分け)；腕と脚の作業（普通の状態での乗り物の運転、足のスイッチやペダルの操作)。立体；ドリル（小さい部分)；フライス盤（小さい部分)；コイル巻き；小さい電気子巻き；小さい力の道具の機械；ちょっとした歩き（速さ3.5km/h)	30		29	
2 中程度代謝率	継続した頭と腕の作業（くぎ打ち、盛土)；腕と脚の作業（トラックのオフロード操縦、トラクター及び建設車両)；腕と胴体の作業（空気ハンマーの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、草堀り、果物や野菜を摘む)；軽量な荷車や手押し車を押したり引いたりする；3.5 ～ 5.5km/hの速さで歩く；追突	28		26	
3 高代謝率	強度の腕と胴体の作業；重い材料を運ぶ；シャベルを使う；大ハンマー作業；のこぎりをひく；硬い木にかんなをかけたりのみで彫る；草刈り；掘る；5.5 ～ 7km/hの速さで歩く。重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする；鋳物を削る；コンクリートブロックを積む。	気流を感じないとき 25	気流を感じるとき 26	気流を感じないとき 22	気流を感じるとき 23
4 極高代謝率	最大速度の速さでとても激しい活動；おのを振るう；激しくシャベルを使ったり掘ったりする；階段を登る、走る、7km/hより速く歩く。	23	25	18	20

注１：JIS Z 8504（人間工学－WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価―暑熱環境）附属書A「WBGT熱ストレス指数の基準値表」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成した。

注２：熱に順化していない人とは、「作業する前の週に毎日熱にばく露されていなかった人」をいう。

※付属の指針シールは「熱に順化していない人」「気流を感じないとき」のWBGT基準値です。

●日本産業衛生学会　許容濃度等の勧告（2011年度）より指針の抜粋

【高温の許容基準】

作業の強さ	許容温度条件
	WBGT（℃）
RMR ～１（極軽作業）	32.5
RMR ～２（軽作業）	30.5
RMR ～３（中等度作業）	29.0
RMR ～４（中等度作業）	27.5
RMR ～５（重作業）	26.5

※RMR：作業の強さの程度（作業者の労作時に消費される代謝エネルギー）

●熱中症について

※日本体育協会 「熱中症予防ガイドブック」より抜粋

熱中症とは、暑さによって生じる障害の総称で、熱失神、熱疲労、熱けいれん、熱射病などの病型があります。

①熱失神

炎天下にじっと立っていたり、立ち上がったりした時、運動後などにおこります。皮膚血管の拡張と下肢への血液貯留のために血圧が低下、脳血流が減少しておこるもので、めまいや失神（一過性の意識消失）などの症状がみられます。

②熱けいれん

汗には塩分も含まれています。大量に汗をかき、水だけ（あるいは塩分の少ない水）を補給して血液中の塩分濃度が低下したときにおこるもので、痛みをともなう筋けいれん（こむら返りのような状態）がみられます。下肢の筋だけでなく上肢や腹筋などにもおこります。

③熱疲労

発汗による脱水と皮膚血管の拡張による循環不全の状態であり、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などの症状がみられます。

④熱射病

体温調節が破綻し、過度に体温が上昇（40℃以上）して脳機能に異常をきたした状態です。種々の程度の意識障害がみられ、応答が鈍い、言動がおかしいといった状態から進行するとこん睡状態になります。高体温が持続すると脳だけでなく、肝臓、腎臓、肺、心臓などの多臓器障害を併発し、死亡率が高くなります。

エラーメッセージ

本器に異常が発生した場合、表示部にエラーコードを表示しお知らせします。

コード	内　　容	対　　策
E02	測定値が表示範囲の下限を超えています。	測定範囲内でご使用ください。
E03	測定値が表示範囲の上限を超えています。	測定範囲内でご使用ください。
E04	黒球温度センサまたは内部電子回路の異常などが考えられます。	使用を中止して、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご連絡ください。
E11	湿度センサまたは内部電子回路の異常などが考えられます。	使用を中止して、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご連絡ください。
E33	内部電子回路の異常などが考えられます。	使用を中止して、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご連絡ください。

仕　様

製品名	熱中症暑さ指数計	
型式	SK-150GT	
製品番号	No.8310-00	
測定範囲	温度	0.0℃～ 50.0℃
	黒球温度	0.0℃～ 80.0℃
	WBGT指数	0.0℃～ 50.0℃
	湿度	10.0%rh ～ 95.0%rh
測定精度	温度	±0.6℃
	黒球温度	±2℃
	WBGT指数	±2℃
	湿度	±3%rh :20%rh ～90%rh（at20℃～30℃）
		±5%rh：上記以外
分解能	温度	0.1℃
	黒球温度	0.1℃
	WBGT指数	0.1℃
	湿度	0.1%rh
測定サンプリング	約２秒	
センサ	温度	サーミスタ
	黒球温度	サーミスタ
	湿度	静電容量型湿度センサ
WBGTアラーム設定範囲	20.0 ～ 49.9の範囲において0.1単位で設定可能 （アラーム解除不可）	
使用環境条件	0℃～ 50℃　95%rh以下（結露なきこと）	
保管環境条件	-10℃～ 50℃（結露なきこと）	
電源	9V乾電池 6F22（006P）　１個	
電池寿命	連続測定時　約600時間（アラーム作動なし）	
本体材質	本体：ABS樹脂 黒球：銅	
寸法	本体：約(W)71×(H)275×(D)30㎜　※(D)は黒球部除く 黒球：約φ60mm	
質量	約240ｇ(乾電池含む)	
付属品	9V乾電池 6F22（006P）　１個 取扱説明書（本書）　１冊 指針シール　３種１シート	

オプション

製品名	型式	製品番号
RS-232C接続ケーブル	PH33	№7687-90
SK-150GT専用三脚	EX-430SK	№8310-60
交換用黒球	GTS-01	№8310-10

インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。
http://www.sksato.co.jp

サービスネットワーク

●本 社 営 業 部　〒101-0037　東京都千代田区神田西福田町３番地
TEL 03-3254-8110㈹　FAX 03-3254-8119

●大 阪 支 店　〒540-0037　大阪府大阪市中央区内平野町2-1-10
TEL 06-6944-0921㈹　FAX 06-6944-0926

●仙 台 営 業 所　〒989-1304　宮城県柴田郡村田町西ヶ丘25-1
TEL 0224-83-4781㈹　FAX 0224-83-4770

●名古屋営業所　〒460-0011　愛知県名古屋市中区大須1-3-16
TEL 052-204-1234㈹　FAX 052-204-1123

●富 山 営 業 所　〒939-8211　富山県富山市二口町5丁目2-3
TEL 076-494-3088㈹　FAX 076-494-3090

●福 岡 営 業 所　〒812-0018　福岡県福岡市博多区住吉4-3-2　博多エイトビル4F
TEL 092-451-1685㈹　FAX 092-451-1688

保証規定

1）取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後１年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
2）修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご持参またはご送付ください。
3）保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
　イ．誤用・乱用および取扱不注意による故障
　ロ．火災・地震・水害等の災害による故障
　ハ．不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
　ニ．使用中に生じた傷等の外観上の変化
　ホ．消耗品および付属品の交換
　ヘ．本証の提示がない場合および必要事項（お買いあげ日、販売店名等）の記入がない場合
4）本証は日本国内でのみ有効です。また本証は再発行いたしません。大切に保管してください。

品 質 保 証 書

お願い　本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管してください。

※当商品の保証書にご記入された、お客様の個人情報は、商品の修理・交換の商品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

品　名　熱中症暑さ指数計　　型　式　SK-150GT

※お客様名

※ご 住 所

※ＴＥＬ　　（　　）

●以下につきましては、必ず販売店にて記入捺印してください。

お買いあげ店名　　㊞

ご住所

ＴＥＬ　　（　　）

お買いあげ年月日　　年　　月　　日

SK 株式会社佐藤計量器製作所
〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町３番地
TEL 03-3254-8111㈹　FAX 03-3254-8119

株式会社佐藤計量器製作所

M.12